

社会福祉法人沖縄肢体不自由児協会行動計画（第2次）

女性が管理職として活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1 計画期間 平成31年4月1日 ～ 平成34年*3月31日

2 当法人の課題

- (1) 職員全体に占める女性の割合80%と比べ、女性管理職の割合は47%と低い。
- (2) 職員の男女の割合は、南部施設と中部施設ではほぼ差が無いが女性管理職の割合に差がある。
- (3) 事務部門の女性管理職が少ない。
- (4) 人材育成の遅れにより、組織上の班長職や課長職、部長職に兼務や欠員が複数ある。

3 目標

法人内全体の管理職（課長級以上）に占める女性の割合を60%以上とし、施設間の差を解消する。

4 取組内容と実施時期

取組1 職員の人材育成、特に女性の人材育成に取り組む。

- ・平成31年4月 ～ 部署毎、職種毎の年齢構成や性別構成等を把握し、将来的に必要となる人材構成を検討し、その中で女性の管理職への登用についても検討を行っていく。
- ・平成32年*4月 ～ 年齢層毎の研修を行い、階層毎のキャリア形成を目指す。この研修の参加者を女性6割以上を目標とする。
- ・平成33年*4月 ～ 女性の昇任対象者の検証を行う。

取組2 女性管理職（課長級以上）が少ない部署の女性職員を対象として管理職育成を目的としたキャリア研修を実施する。

- ・平成31年4月 ～ 事務部門で、女性管理職が少ない理由となっている問題点を分析する。
- ・平成32年*5月 ～ 事務系女子職員を主としたキャリアセミナー等を実施する。

※ 改元に伴う改正は行わず、読み替えで対応する。